

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告  
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No.	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
			指標	指標値(H28.3)	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	総合戦略策定事業	2,900,425	-	-	-	-	-	-	-	-
2	地域おこし協力隊事業	6,831,996	「地域おこし協力隊事業」による定住者	3人	1人	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効ではあるが、活動内容が見えにくい。イベントやフェイスブックで広報することは効果が望めるため、今後期待している。	事業内容の見直し(改善)	地域おこし協力隊の活動を、イベントやフェイスブック等で見た市外の人が小松島市に魅力を感じ、移住してもらえるようにする。また、任期終了後に自立・定住してもらえるようにする。	
3	6次産業化支援事業	2,981,481	6次産業化の取組事例数	2件	5件	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	豊富な海や山の幸を活用し、広く市民のアイデアをもらいながら、商品を更に開発して、県外、国外にも小松島市をアピールして欲しい。	今後も商品を増やしつつ、販売促進、販路拡大を図り、地場産業の強化を図る。
4	新規雇用創出事業	391,239	合同面接会への参加者の内、新規就職者数	10人	28人	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	地元での就職者を増やすためには重要である。	新規雇用創出に向け環境整備を行うことは必要不可欠であるため。
5	就農者等移住支援事業	2,937,360	新規就農者数	1人	1人	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	経営支援等多面的な支援も含め、ある程度は軌道に乗るまでのフォローが必要であり、働き手の確保のため今後も継続する必要がある。	農業後継者等の担い手不足や耕作放棄地の増大といった問題解決のため、農業経営体の基盤強化促進は必要不可欠であるため。
6	中心市街地にぎわい創出事業	6,247,428	お試し移住の利用者数 空き店舗への新規出店件数	5人 3件	3人 2件	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	経済対策として有効である。交流拠点としての運営が継続でき活性化が図れるよう市民への協力の働きかけも必要だと思う。	創業希望の相談は寄せられており、引き続き創業者が長期的に安定した経営を行えるよう中小企業診断士等の専門家を派遣するなど、地域に根付いた経営を支援する必要がある。
7	地域ごと支援事業	465,500	創業相談に入っている人数	5人	6人	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	雇用の場の確保のためには必要な取り組みである。関係機関の連携体制も必要と思われる。	創業後の安定的かつ継続的な運営はすぐに効果として現れにくいだが、経済情勢の変化にも耐えうる企業経営を支援するためには必要である。
8	観光振興事業	3,531,248	観光案内所の利用者数	4500人	3615人	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	一定の効果はある。今後の成果が期待できる有効な事業だと思うので、更に推し進めて欲しい。	交流人口の増加を定住人口の増加に結び付けるためには必要不可欠であるため。
9	保育士人材確保事業	10,212,000	民間保育所への新規就業者数	10人	12人	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	保育施設、利用者共にメリットがあり、今後の人口流入に大きな効果があると思われる。	育休明けの入所希望は一定数あり、必要な時に預けられる安心感が持てることは子育て環境の満足につながるため必要である。
10	身体障がい者等バス無料優待事業(拡充分)・老人等無料バス優待事業(拡充分)	6,965,428	公共交通の利用者数	104,000人	105,035人	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	交通弱者が増えている中、日常生活圏を維持するため、また社会参加するための必須な事業である。	高齢者や身体障がい者の方々の移動手段を拡充し、生きがい施策を促進することは必要不可欠であるため。